

庄内町立図書館だより

よめっちゃん

(本をたくさん

「読んでね」との願いを込めて)

2017.3.29(No.22)



図書館カレンダー ★開館時間

平日 午前 9:00~午後 7:00

土日 午前 9:00~午後 5:00

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

おはなしらんど ★ たのしいおはなし会

☆日時：5/17(水)・10時~

☆会場：図書館ホール

4月はお休みです。5月までまってね♪



庄内町内藤秀因水彩画記念館

4月1日より開催する展覧会をご紹介します

第100回收藏品展・内藤秀因没後30周年記念

内藤秀因作品展

2017. 4.1(土) - 5.21(日)

内藤氏のご遺族より約 2,000 作品の寄贈を受け、1992 年より開催してきた当館の收藏品展はこのたび 100 回を迎えます。また、本年は内藤秀因の没後 30 周年にもあたります。

これらの節目を記念した本展では、当館收藏品を代表する作品約 50 点に加え、町内外の施設および個人のコレクションもご紹介し、内藤秀因の画業を見つめなおします。



かつて子どもだった皆様へ

最近絵本を手にしたことはありますか？小説や実用書を読まれるちょっとした合間や、お休み前のひと時に手に取ってみてはいかがでしょうか。昔読んだことのある物語との再会があったり、絵を眺めるだけでもホッとすることでしょう。大人の方も、子どもどくしよ室をお気軽にご利用ください。

子どもどくしよ室前のカウンター。現在ミッフィーシリーズを展示中。随時おすすめシリーズを展示しますので覗いてみてね！



お問い合わせ 図書館・内藤秀因水彩画記念館

43-3039

分館 56-3308

図書館 HP → <http://www.town.shonai.lg.jp/library/>

『Rのつく月には気をつけよう』石持 浅海/著(祥伝社)

大学時代からの呑み友達の3人。毎回誰かが連れてくるゲストの口からぼろりと出てくる恋愛話。そこにはなぜか謎があって…。美味しいお酒に美味しい肴。読んでいるうちに思わず飲みたくなる！ミステリー短編集です。

表題作は、牡蠣をほおぼりながらウイスキーをぐいっとあおる描写に生唾ゴクリ。謎が少しずつ紐解かれていく様子にも引き込まれます。少し強引!?とってしまう謎解きの章もありますが、どの話もさらりと読めて後味もすっきり。



社会に出ると様々なお酒の席がありますが、この本を読んで、気の置けない仲間となんだかんだと語りながら家呑みをしていた学生の頃を思い出しました。たまにはそんなお酒もいいですね。



(飲めばますます明るい笑い上戸のお姉さま)

『男と女の居酒屋作法』太田 和彦/著(角川書店)

アートディレクターで東北芸術工科大学教授も勤めていた太田氏は、本業のかたわら日本各地の居酒屋を渡り歩き、その人間模様を知り尽くした「居酒屋の達人」でもある。

本書は、大きく「女編」と「男編」に分けて書かれた男女別・大人呑みのための居酒屋エッセイ。



紹介されている店は全て東京の居酒屋だが、出張や小旅行などで東京に出向いた時に、ぜひ行ってみたい居酒屋ばかり。一人静かに気の利いた肴と旨い酒を楽しみたい方や若い男女で居酒屋を楽しみたい方のための居酒屋指南書でもある。



(女子会を引っ張ってくれる正統派呑んべー氏)

職員のおすすめ本

歓送迎会、卒業、入学、進級等
何かと機会が増えるこの季節

お酒

もちろん飲んだら乗るな！ですよ！

『酒天童子』竹下文子/著(偕成社)

酒は人間とともに古い。人間があったところには、どこにも酒があった…かの堀口大學はこう記している。古来、和洋問わず、詩人文人は酒を言葉に染み込ませて、傑作を生み出してきた。そこでふと思出したのが「酒天童子」。能や歌舞伎の題材にもなっている大酒呑みの妖怪の話である。当館は児童書としても所蔵しているので、ご興味ある方はご一読あれ。館内きってのビール党の私は、妖怪と恐れ



られぬよう自制を求められた1冊である。

一斗詩百篇の李白にも実は憧れてますが(笑)。

(ビールは経口点滴！正真正銘のビール党首)

『中華なべで15分！燻製おつまみ』太田 潤/著(講談社)

燻製って、なんだか面倒くさいイメージありませんか？実は意外と手軽につくれちゃうんですよ。こちらの本では、中華なべを使用していますが、ちょっと深めのフライパンで十分です。うちでは香りがなかなか取れないので100均で買ったフライパンを専用に使っていますよ！

定番のチーズやゆで卵、ソーセージがあつと言う間にちょっとした高級おつまみに変身！家呑みパーティーのメニューに加えればできる女に見られるかも！私的にはチャレンジメニューだと思いますが、羊羹はお酒と楽しめる味に変身するらしいです。いろいろ試したくなる1冊です。※注 ついつい酒が進み過ぎます。



(遂に一升瓶ワインに手を出してしまった家呑み母ちゃん)

『有頂天家族』森見 登美彦/著(幻冬舎)

本書は現代の京都に暮らす狸の下鴨一家を中心とする、狸・人間・天狗の物語です。狸の一族の愛憎に加え、種族間の攻防や友愛や、そうした既存の言葉に収まらない複雑な関係性が描かれます。

酒をテーマとしたお話ではありませんが、登場人物には酒好きが多く、作中に繰り返し出てくる種を越境した酒盛りの場面が魅力的な作品です。酔うことで立ち廻れるそれぞれの思いや、儘ならぬやるせなさに、主人公の矢三郎(狸です)は酒を酌み交わすなかで気付いていきます。

また、作中に登場する「偽電気ブラン」や「赤玉」などの酒も印象的です。

この春映像化の続編『有頂天家族 二代目の帰朝』もお勧め。併せてお楽しみください。



(こう見えて結構イケる口なんです。意外に強し！)

人と親しくするには百杯のお茶より一杯のお酒と聞いたことがあります。私の体験から実証済みです。お酒には不思議な力がありますね。でも、くれぐれも飲み過ぎにご注意を。こちらで紹介した本はすべて当館にございます。貸出し中の場合でも予約できますのでお気軽にお問合せください♪